

号外**新潟日報**

2011年(平成23年)3月26日(土曜日)

発行所 新潟日報社 購読は0120-0840-20
〒950-1189 新潟市西区善久772-2 www.niigata-nippo.co.jp

詳しくは新潟日報で

島つ子思い出山甲子園



4回無死一塁、鈴木選手の適時二塁打で和田選手が生還、1-2とする
=26日、甲子園球場

佐渡高の打線は4安打を放った。0-2の四回、無死から和田浩樹選手が左前にチーム初安打。続く鈴木峻太郎選手が左中間を破る二塁打を放ち1点を返した。佐渡の先発・鎌田侑樹投手は初回、死球と犠打などで1死一、三塁とされ、内野安打で先制を許した。その後も適時打を浴び、この回2点を失った。二、五回は被安打1で踏ん張ったものの、1-2で迎えた六回、2死満塁から走者一掃の適時三塁打などで4失点。七、八回にも1点ずつ奪われた。

佐
（智）
青木、古田—道端
鎌田—渡部哲
渡

2000004110
0001000000
—
18

▼1回戦
智弁和歌山（和歌山）

第83回選抜高校野球大会は第4日の26日、兵庫県西宮市の甲子園球場で1回戦を行い、21世紀枠で初出場の佐渡高は智弁和歌山高に1-8で敗れた。四回に1点を奪うなど前半は強豪相手に互角に戦ったが、六回以降突き放された。アルプス席は島民らで満員。ナインの一投一打に大歓声を送り、温かい拍手で健闘をたたえた。

4回1点、追いすがる

佐渡センバツ悔いなし